自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事 类 庇 釆 品	業所番号 1492500028		月日 平成19年2月1日	
	1492300026	指定年月日	平成19年2	月1日
法 人 名	株式会社 ウイズネッ	٢		
事業所名	グループホーム みんなの家 逗子			
所 在 地	(249-0007) 神奈川県逗子市新宿 4 丁目 1 6 番 1 号			
サービス種別 小規模多機能型居		居宅介護	登録定員 通い定員 宿泊定員	名 名 名
定 員 等 	認知症対応型共同生活介護		定員 計 1 ユニット数 2	8 名 2 ユニット
自己評価作成日	平成22年1月7日	評 価 結 果 市町村受理日	平成22年5月10日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1492500028&SCD=320

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム理念「地域に根ざした明るく楽しいホーム創りを!」に沿い、地域交流の基盤です。それに伴い、楽しい行事に御家族や地域の方々にも参加していただいています。共に笑う事が多い暖かいホームです。

1 F の長期目標として、その方がその方らしく元気に生活していただくために(1) 1日1回は外の空気を吸う(2)毎食前の嚥下体操を実施しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評	価 機 [関 名	株式会社フィールズ			
所	在	地	251-0024 神奈川	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橘1-2-4 クゲヌマファースト 3階		
訪	7 問調 3	查日	平成22年2月17日	評 価 機 関評 価 決 定 日	平成22年4月19日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当グループホームはJR逗子駅から路線バスで10分程の幹線道路沿いに位置しています。利用者はすべて地元の方です。

「地域に根ざした明るく楽しいホーム創りを!」の理念実践の為、自治会入会、ホームに隣接している町内会館との協力体制作り、運営推進会議を利用しての情報交換など積極的に地域とのつきあいに取り組んでいます。現管理者就任から2年ほどですが管理者のフットワークの良さとネットワークの広さを生かし、地域のおまつりの山車が立ち寄ってくれるようになったり、災害訓練の際には地域の方々の参加も得られているなど驚くほど地域交流が進んでいます。

利用者の日常もADL(日常生活動作)低下を少しでも食い止める為、食事のご飯を炊飯器から自分でよそってもらうことで立ち上がりの訓練を兼ねるなど生活リハビリを上手く取り入れています。ホームの今年度の目標の一つに「笑顔」がありますが、管理者以下職員は明るく、笑顔の似合う方たちです。さまざまな場面で利用者の笑顔、職員の笑顔を見ることができました。残りの目標「安心、安全」にも職員はモチベーションを高く持ち日々ケアに取り組んでいます。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム	みんなの家	逗子
ユニット名	1ユニット		

	アウトカム項目	
56		1,ほぼ全ての利用者の
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる。	2,利用者の2/3くらいの
	(参考項目:23,24,25)	3.利用者の1/3くらいの
		4.ほとんど掴んでいない
57		1,毎日ある
	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面が ある。	2,数日に1回程度ある
	(参考項目:18,38)	3.たまにある
		4.ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい	1,ほぼ全ての利用者が
	利用有は、一人ひとりのベースで暮らしている。 (参考項目:38)	2,利用者の2/3くらいが
		3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした た表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	1,ほぼ全ての利用者が
		2 , 利用者の2/3くらいが
		3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
60	 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい	1,ほぼ全ての利用者が
	る。	2 , 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:49)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
61	 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な	1,ほぼ全ての利用者が
		2,利用者の2/3くらいが
	(参考項目:30,31)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
62	 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	1,ほぼ全ての利用者が
	な支援により、安心して暮らせている。	2 , 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:28)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこ	1,ほぼ全ての家族と
	と、求めていることをよく聴いており、信頼	2,家族の2/3くらいと
	関係ができている。	3.家族の1/3くらいと
	(参考項目:9,10,19)	4. ほとんどできていない
64		1,ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている。	2,数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)	3. たまに
		4.ほとんどない
65		1,大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、	2,少しずつ増えている
	事業所の理解者や応援者が増えている。	3. あまり増えていない
	(参考項目:4)	4.全くいない
66		1,ほぼ全ての職員が
	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	2,職員の2/3くらいが
	(23,4,1,1,1)	3.職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	動きもと日子 利田老は共 ビュにももれる	1,ほぼ全ての利用者が
	職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う。	2,利用者の2/3くらいが
	,, 3,C = 10 · 5 = 18.5 y	3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	助という日子 利田老の宮佐笠はせ ピュー	1,ほぼ全ての家族等が
	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	2,家族等の2/3くらいが
		3.家族等の1/3くらいが
		4.ほとんどいない

自己	外郊		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	理》	念に基づく運営			
1		理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有し て実践につなげている	管理者と職員は毎朝の申し送り前に皆で理念を復唱し、意識し共有仕合っています。ホーム主催の行事を通して、または地域からのお誘いにより地域の催しに参加させていただいています。	りを!」を全職員が検討に参加し作って	
2		事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられ るよう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	事業所は自治会の会員になっており、回 覧板や地域の方々のお誘いにより、地域 の催しに参加させて頂いております。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	地域の方々にホームの行事に参加して頂いたり、防災訓練等では協力を依頼。ご利用者様と共に行動する事で認知症を理解して頂ける様にしています。		
4		運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合い を行い、そこでの意見をサービス向上に活かして いる	リ報告他、参加者が抱える問題も話し合われ、地域の情報提供の場になっていま		
5		市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席して頂いている他、 月に1回、待機者数の報告があり、その際、ホームの実情やケアの取り組み等伝え、相談するよう努めています。	市の方針で生活保護受給者の入居は受け入れていません。ホームの実情などは月1回報告しています。市と地域包括支援センターは運営推進会議に毎回出席しており、ホーム運営やケアの取り組みに前向きな姿勢を見せています。	

É	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6		身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス 指定基準における禁止の対象となる具体的な行 為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	様の安心安全を心掛けています。ホームの前が幹線道路のため、玄関は安全のため施錠していますが、希望時にはいつでも開けられるようしています。	とは当然のこととして日常のケアに当	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止 に努めている	今年度、虐待に関する研修を実施。管理 者及び職員は十分な理解のもと、防止に 努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	全体会議時、成年後見制度を学ぶ機会を 職員が持ち、現在支援中です。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家 族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理 解・納得を図っている	契約時、御家族様に納得して頂けるよう説明しております。また、面会時等に、御家族が抱えている悩みや不安があれば聞かせて頂き、理解するよう努めています。		
10		運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反 映させている	要望、苦情を入れる箱を設置。ご家族あてに心の声のアンケートを実施し、運営に反映させています。	家族会で出された意見を反映させ、職員の名札を首掛けタイプから、エプロンなどに縫い付ける方法に変更しました。「こころの声」アンケート結果により、職員の顔写真とひとことを玄関に掲示しています。	

自	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11		運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議や全体会議の中で職員の意見や提案を交換するよう努めています。また、個人面談も実施しています。	1・2階のフロア会議、全体会議での意見 収集が主です。入居者の高齢化で身体能 力が落ちてきていますが、どうしたら身 体を動かして頂けるかを話し合っていま す。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	年2回の人事考課、面談を実施しており、その結果を昇給や賞与に反映しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	研修制度には力を注いでおり、職階別研修や新人社員研修、介護や制度に関しての研修、資格取得に向けた研修を実施。職員には参加を促し、シフト調整するなどの支援をしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪 問等の活動を通じて、サービスの質を向上させて いく取組みをしている	市内にある他の施設と行事を通して交流 会を持ち、サービスの質を向上させてい くことを進めています。		
	安	心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者の事前相談でこれまでの生活歴 を伺い、ご本人様の求めていること、不 安なことを理解し、受け止める努力をし ています。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け ながら、関係づくりに努めている	入居前の面談、入居後のご本人の様子を 伝えながら御家族の要望等伺うようにし ています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、 他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状態により、ホームでのサービス提供がなされ、また必要があれば外部のサービスが受け取れるか検討しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側、される側関係なく、ひとつの家族として個々に合わせた生活が送れるよう、御利用者様を巻き込んだ生活をして、互いの人間関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご家族様にお便りなどを通し、行事への参加を呼びかけ、共に支えていく関係を築いています。今年は御家族様の提案により、「生活支援日」を設け、ご家族様にも協力頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加を通し、ご本人様の馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援しています。	家族の面会はもちろん、友人が訪問してくれることもあります。逗子の地元の飲食店への外食やお茶など楽しんでいます。時には路線バスを利用することもあります。	

自	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	ご利用者様同士の関係がうまくいくよう 席替えをしたり、会話の橋渡しをしてい ます。ご利用者様が孤立しないよう配慮 しながらお手伝いをお願いしたり、お声 掛けを行なっています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの 関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家 族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もお便りを送付したり、現在の様子を伺ったりしています。		
	そ	の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23		思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている。		言葉で意向を伝えられない方も必ず何らかの形でサインは出しているので、意思表示を見極めるよう努めています。職員が歌った海の歌に反応を示したことで利用者の思いの理解を深められた事例があります。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている	入所時の情報、ご家族からの情報を総括し、日々の様子などから一人ひとりの暮らし方を把握するために生活記録を始め、様々なチェック表を作成しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	ご利用者様一人ひとりの生活のリズムを 理解し、その日の心身状態を総合的に把 握するために生活記録をはじめ様々な チェック表を作成しています。		

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26		チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している	アセスメントの内容とご家族様の意向を基にカンファレンスを行なって今す。モニタリングも定期的に実施し、ケアプランに反映させています。	その方がその方らしく元気に生活していく為にモニタリング会議に利用者本人も参加し、意向を確認して計画を作る場合もあります。利用者の状態によってはかかりつけ医、看護師のアドバイスも反映させています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の体調管理を把握し、その日の状態を申し送りにて共有する他、生活記録にて過去何日かの様子を確認することで情報を共有し、実践に活かして素早い対応をしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医院の往診が受けられる体制があり、電話連絡、往診等の対応で、ご利用者様の安心、安全が保たれるよう支援を行なっています。また、医療リハビリ等や機関への紹介も行なっています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通し、地域の方や消防、 ボランティアにも協力を得るよう努力し ています。		
30		かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援してい る	入居の際に御家族様からのご希望を伺い、提携の内科医を紹介すると共に自由に主治医を選択できるよう支援しています。	認知症の専門家の往診協力を月1回利用されている方もおられます。適切な医療により以前より症状が安定した利用者がいます。週1回法人所属の看護師の訪問もあり、アドバイスを受ける他、提携の内科医とのパイプ役にもなっています。	

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回来設するため、 日常の健康管理相談や医療活用支援他往 診医との連携により早期発見、適切な処 置がなされるよう支援しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は介護サマリーを医療機関に届け、医師、看護師に容態を伺い情報交換や相談に努めています。また御家族様、 医療機関、事業所が協働しながら退院に向けた話し合いが持たれています。		
33		重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる		話し合いを重ね本人、家族の意向を汲み取り、ホームとして出来る最大限の支援を心がけています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	急変、事故発生時のマニュアルのもと、 連絡体制を作成しています。		
35		災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるとと もに、地域との協力体制を築いている	今年度、地域の方を巻き込んでの避難訓練を2回実施しています。今後は課題に沿い、地域の方々の協力体制の強化を図っていきたいと思います。	消防署やホームに隣接している町内会館との相互協力体制を整えています。訓練には地域の方々の参加も得られています。更なる災害対策の充実に向けて課題を抽出し、改善に取り組んでいます。	_

Ė	外郊		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	そ(の人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や心身の状態を把握 し、その方にあった言葉かけや対応を心 掛けています。	浴室は脱衣、洗濯室などを兼ねた造りになっています。入浴中の方がいる場合は人の出入りを考慮し、脱衣の場をカーテンで仕切り、羞恥心やプライバシーに配慮する支援が行われています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	ご利用者様の生活のペースに合わせて、 その人らしく生活が送れるよう支援して います。また、その都度、意向を伺いご 利用者様の判断を仰ぐようにしていま す。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の個性を大切にし『自己決定』『残 存機能の活用』するなどして、ご利用者 様の意思を大切にし支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	整髪は馴染みのある行きつけの理・美容院に行く、または訪問理美容を活用するなど、ご利用者の意向に沿って支援しています。		
40		食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	食事の支度や配膳、下膳などをスタッフと一緒に行なっています。また、お誕生会や行事の際は、なるべくお好みのメニューを提供できるよう努めています。	男性利用者も積極的に配膳、後片付けなど関わっています。BGMのクラシック音楽が心地よい雰囲気を演出しています。職員も同じテーブルを囲み話題を提供しています。利用者の皆さんが楽しそうに笑う場面がありました。	

自己	外 部		自己評価	外部評価	
評価	評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	摂取量として1日1500~1600カロリーを 目安として記録にも記載しています。水 分も1日1000cc以上を目安に摂取できるよ う支援し、摂取量を記録しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	歯科衛生士が月4回、歯科医が月2回往診するほか、職員が指導を受け、毎食後、ご利用者様の力に応じた口腔ケアを行なっています。		
43		排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレ での排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている		トイレの場所や排泄の一連の動作が分からなくなって不穏になり、失敗が続いていた利用者も居室にポータブルトイレを置き場所を固定し、介助も職員の対応を統一することで混乱や失敗が減ったという事例があります。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	排便の有無を排泄表に記載し、その方に あった食物や飲料を医師、ご家族と相談 しながら散歩や体操などを勧め、予防に 取り組んでいます。		
45		入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をして いる	その人の生活を重視して、入浴希望があり、体調が安定しているときに、入浴を楽しんで頂けるよう心掛けています。	夜間帯は外していますが、それ以外は利用者の希望に沿った支援を行っています。仲の良い方同士入浴することもあります。拒否のある方も入浴予約カードを提示し、促すなど工夫しています。	

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	日中の活動を増やし、夜間は良眠できるよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	居宅管理指導にて薬局のメディスンショップが服薬管理にあたっています。また、職員は一人ひとりの服薬内容を把握し、服薬支援と症状の変化の確認に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の潜在している記憶や力を活かし、 家事や趣味等、役割を持って頂いていま す。		
49		日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出かけ、季節の変化を感じ取って頂いた りしています。またご家族に協力を得、 外出支援をしています。	外気浴も含め1日に1回は外の空気を吸えるよう支援しています。訪問時も皆さんで近くの自動販売機へおしることコーンポタージュを買いに出かけていました。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	職員の付き添いのもと、できる方は買い物の際、レジにてお金を支払って頂くなどの支援をしています。		

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の希望に応じ電話の取次ぎを しています。年賀状を書く等の支援もし ています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採りれて、居心地よく過ごせるような工夫をしてい	に心掛けています。トイレも気持ちよく 出入りできるように清潔に配慮し和やか な空間になるよう努めています。	玄関には利用者の生けた季節の花が飾られています。3月を間近に控え、リビングは利用者が持っていたという年代物のひな人形をはじめあちこちに春らしい雰囲気が演出されています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工 夫をしている	フロアにはテレビやソファーを置いて家 庭的な共有の空間作りをしています。		
54	20	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし	頂いており、仏壇を持参されているご利用者もいます。テレビ、チェア、アルバムなどご本人様が心地よく過ごせるよう配慮しています。	ホーム備え付けのカーテン、チェストの他は仏壇や冷蔵庫を持ってきたり、家族の写真や資格取得の看板を飾るなどその方らしい居室になっています。ご夫婦で入居の際もそれぞれの居室対応になっています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わか ること」を活かして、安全かつできるだけ自立し た生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、 手すりも完備されているため安全で自立 した生活が送れます。また、1Fについ ては窓を開けるとすぐに出られるため外 気浴、日光浴を楽しまれています。		

事業所名	グループホーム	みんなの家	逗子
ユニット名	2 ユニット		

	アウトカム項目	
56		1,ほぼ全ての利用者の
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	2,利用者の2/3くらいの
		3.利用者の1/3くらいの
		4.ほとんど掴んでいない
57		1,毎日ある
	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面が ある。	2,数日に1回程度ある
	(参考項目:18,38)	3.たまにある
		4.ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしてい	1,ほぼ全ての利用者が
	利用有は、一人ひとりのベースで春らしてい る。	2,利用者の2/3くらいが
	(参考項目:38)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	1,ほぼ全ての利用者が
		2 , 利用者の2/3くらいが
		3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
60		1,ほぼ全ての利用者が
	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい る。	2 , 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:49)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
61	 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な	1,ほぼ全ての利用者が
		2,利用者の2/3くらいが
	(参考項目:30,31)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない
62	 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	1,ほぼ全ての利用者が
	な支援により、安心して暮らせている。	2 , 利用者の2/3くらいが
	(参考項目:28)	3.利用者の1/3くらいが
		4.ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこ	1,ほぼ全ての家族と 2,家族の2/3くらいと
	と、求めていることをよく聴いており、信頼 関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	2,家族の2/3くらいと
		4.ほとんどできていない
64		1,ほぼ毎日のように
	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている。	2,数日に1回程度ある
	(参考項目:9,10,19)	3. たまに
		4. ほとんどない
65		1,大いに増えている
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、 事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	2,少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4.全くいない
66	贈号け 活き活きし掛けている	1,ほぼ全ての職員が
	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	2,職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	 職員から見て、利用者はサービスにおおむね	1,ほぼ全ての利用者が
	職員から兄と、村用省はケーと人にののひね 満足していると思う。	2,利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに	1,ほぼ全ての家族等が
	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う。	2 , 家族等の2/3くらいが
		3.家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自外部			自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	評 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	理	念に基づく運営			,
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有し て実践につなげている	管理者と職員は毎朝の申し送り前に皆で理念を復唱し、意識し共有仕合っています。ホーム主催の行事を通して、または地域からのお誘いにより地域の催しに参加させていただいています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられ るよう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	事業所は自治会の会員になっており、回覧板や地域の方々のお誘いにより、地域の催しに参加させて頂いております。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	地域の方々にホームの行事に参加して頂いたり、防災訓練等では協力を依頼。ご利用者様と共に行動する事で認知症を理解して頂ける様にしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合い を行い、そこでの意見をサービス向上に活かして いる	年間事業計画の取り組み状況、事故ヒヤリ報告他、参加者が抱える問題も話し合われ、地域の情報提供の場になっています。会議の内容は全体会議で職員に伝え、サービス向上に活かしています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業 所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席して頂いている他、 月に1回、待機者数の報告があり、その際、ホームの実情やケアの取り組み等伝え、相談するよう努めています。		

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6		身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービ ス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス 指定基準における禁止の対象となる具体的な行 為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルに基づき、ご利用者様の安心安全を心掛けています。ホームの前が幹線道路のため、玄関は安全のため施錠していますが、希望時にはいつでも開けられるようしています。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止 に努めている	今年度、虐待に関する研修を実施。管理 者及び職員は十分な理解のもと、防止に 努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性 を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	全体会議時、成年後見制度を学ぶ機会を 職員が持ち、現在支援中です。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、御家族様に納得して頂けるよう説明しております。また、面会時等に、御家族が抱えている悩みや不安があれば聞かせて頂き、理解するよう努めています。		
10		運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反 映させている	要望、苦情を入れる箱を設置。ご家族あてに心の声のアンケートを実施し、運営に反映させています。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11		運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	フロア会議や全体会議の中で職員の意見 や提案を交換するよう努めています。ま た、個人面談も実施しています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいな ど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	年2回の人事考課、面談を実施しており、その結果を昇給や賞与に反映しています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	研修制度には力を注いでおり、職階別研修や新人社員研修、介護や制度に関しての研修、資格取得に向けた研修を実施。職員には参加を促し、シフト調整するなどの支援をしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪 問等の活動を通じて、サービスの質を向上させて いく取組みをしている	市内にある他の施設と行事を通して交流 会を持ち、サービスの質を向上させてい くことを進めています。		
	安	心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者の事前相談でこれまでの生活歴を伺い、ご本人様の求めていること、不安なことを理解し、受け止める努力をしています。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け ながら、関係づくりに努めている	入居前の面談、入居後のご本人の様子を 伝えながら御家族の要望等伺うようにし ています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、 他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状態により、ホームでのサービス提供がなされ、また必要があれば外部のサービスが受け取れるか検討しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する側、される側関係なく、ひとつの家族として個々に合わせた生活が送れるよう、御利用者様を巻き込んだ生活をして、互いの人間関係を築いています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご家族様にお便りなどを通し、行事への参加を呼びかけ、共に支えていく関係を築いています。今年は御家族様の提案により、「生活支援日」を設け、ご家族様にも協力頂いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加を通し、ご本人様の馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援しています。		

直	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	ご利用者様同士の関係がうまくいくよう 席替えをしたり、会話の橋渡しをしています。ご利用者様が孤立しないよう配慮 しながらお手伝いをお願いしたり、お声掛けを行なっています。		
22		関係を断ち切らない取組みサービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後もお便りを送付したり、現在の様子を伺ったりしています。		
		の人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 		,	
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている。	日々の様子からご本人様の意向を推察したり、ご家族様からの情報、意向を把握し、早めに対応するよう心掛けています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている	入所時の情報、ご家族からの情報を総括し、日々の様子などから一人ひとりの暮らし方を把握するために生活記録を始め、様々なチェック表を作成しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	ご利用者様一人ひとりの生活のリズムを 理解し、その日の心身状態を総合的に把 握するために生活記録をはじめ様々な チェック表を作成しています。		

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26		チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している	アセスメントの内容とご家族様の意向を基にカンファレンスを行なって今す。モニタリングも定期的に実施し、ケアプランに反映させています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の体調管理を把握し、その日の状態を申し送りにて共有する他、生活記録にて過去何日かの様子を確認することで情報を共有し、実践に活かして素早い対応をしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	協力医院の往診が受けられる体制があり、電話連絡、往診等の対応で、ご利用者様の安心、安全が保たれるよう支援を行なっています。また、医療リハビリ等や機関への紹介も行なっています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を通し、地域の方や消防、 ボランティアにも協力を得るよう努力し ています。		
30		かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に御家族様からのご希望を伺い、提携の内科医を紹介すると共に自由に主治医を選択できるよう支援しています。		

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝 えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	医療連携看護師が週1回来設するため、 日常の健康管理相談や医療活用支援他往 診医との連携により早期発見、適切な処 置がなされるよう支援しています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は介護サマリーを医療機関に届け、医師、看護師に容態を伺い情報交換や相談に努めています。また御家族様、医療機関、事業所が協働しながら退院に向けた話し合いが持たれています。		
33		重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有 し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組ん でいる	ご本人様やご家族様の意向に配慮しつつ事業所が対応できる最大の支援方法を踏まえて話し合い、ご家族様や医師と連携を図りながら、地域関係者にも看取り介護中であることを伝え、チームで支援しています。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	急変、事故発生時のマニュアルのもと、 連絡体制を作成しています。		
35		災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるとと もに、地域との協力体制を築いている	今年度、地域の方を巻き込んでの避難訓練を2回実施しています。今後は課題に沿い、地域の方々の協力体制の強化を図っていきたいと思います。		

É	外 部		自己評価	外部評価	
自己評価	評価	項	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
	そ	の人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー を損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や心身の状態を把握 し、その方にあった言葉かけや対応を心 掛けています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	ご利用者様の生活のペースに合わせて、 その人らしく生活が送れるよう支援して います。また、その都度、意向を伺いご 利用者様の判断を仰ぐようにしていま す。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の個性を大切にし『自己決定』『残 存機能の活用』するなどして、ご利用者 様の意思を大切にし支援しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	整髪は馴染みのある行きつけの理・美容院に行く、または訪問理美容を活用するなど、ご利用者の意向に沿って支援しています。		
40		食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	食事の支度や配膳、下膳などをスタッフと一緒に行なっています。また、お誕生会や行事の際は、なるべくお好みのメニューを提供できるよう努めています。		

自己	外郊		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	摂取量として1日1500~1600カロリーを目安として記録にも記載しています。水分も1日1000cc以上を目安に摂取できるよう支援し、摂取量を記録しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	歯科衛生士が月4回、歯科医が月2回往診するほか、職員が指導を受け、毎食後、ご利用者様の力に応じた口腔ケアを行なっています。		
43		排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレ での排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの 排泄パターンを把握しています。自立し た排泄に向けた支援をし、健康面でのサ ポートもしています。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り 組んでいる	排便の有無を排泄表に記載し、その方に あった食物や飲料を医師、ご家族と相談 しながら散歩や体操などを勧め、予防に 取り組んでいます。		
45		入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をして いる	その人の生活を重視して、入浴希望があり、体調が安定しているときに、入浴を楽しんで頂けるよう心掛けています。		

自己	外		自己評価	外部評価	
評価	部評価	項	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	日中の活動を増やし、夜間は良眠できるよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	居宅管理指導にて薬局のメディスンショップが服薬管理にあたっています。また、職員は一人ひとりの服薬内容を把握し、服薬支援と症状の変化の確認に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の潜在している記憶や力を活かし、 家事や趣味等、役割を持って頂いていま す。		
49		日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員の付き添いのもと、散歩や買い物に出かけ、季節の変化を感じ取って頂いたりしています。またご家族に協力を得、外出支援をしています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援している	職員の付き添いのもと、できる方は買い物の際、レジにてお金を支払って頂くなどの支援をしています。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己評価	部評価	項目	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の希望に応じ電話の取次ぎを しています。年賀状を書く等の支援もし ています。		
52		居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱を まねくような刺激(音、光、色、広さ、温度な ど)がないように配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしてい	玄関や居間は季節感のある物を飾るように心掛けています。トイレも気持ちよく出入りできるように清潔に配慮し和やかな空間になるよう努めています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工 夫をしている	フロアにはテレビやソファーを置いて家庭的な共有の空間作りをしています。		
54		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし	入居時、使い慣れた日用品を持ってきて頂いており、仏壇を持参されているご利用者もいます。テレビ、チェア、アルバムなどご本人様が心地よく過ごせるよう配慮しています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わか ること」を活かして、安全かつできるだけ自立し た生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーになっており、 手すりも完備されているため安全で自立 した生活が送れます。また、2 F ベラン ダではプランターで季節の野菜を栽培し ています。		

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 グループホーム みんなの家 逗子

作成日: 平成 22 年 5月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体 的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】						
優先 順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間		
1	38	生活リハビリに取り組んでいるが、もう一度出 来る事を模索してゆきたい。	特に2Fの入居者様の残存機能を活かす取り 組みを行う。	1 食事の準備、かたずけ等を スタッフが主だって、行わないようにする。 2 お茶を自由に入れられるようにする。 3 居室の掃除のできる方はスタッフの見守りにて 掃除機をかけて頂〈。	12ヶ月		
2	37	入居者様の 笑顔を引き出す 心のケアーに取り組みたい。	もっと個々の楽しみを増やしていく。	1 週一回、移動パン屋に来ていただき、パンの購入をして頂〈楽しみを増やす。 2 習字、大正琴のボランティアさんによる取り組みを始める。	12ヶ月		
3	29	昨年中の反省にて、夜間を想定した避難体勢 の取り組み。	近隣、御家族をまきこんだ、夜間を想定した避難体勢を検討し具現化する。	防災訓練にて 、夜間時間帯を想定した 避難訓 練を今年中に実施する。	12ヶ月		
4					ヶ月		
5					ヶ月		

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。